

企業様との共同開発により
商品化されました！

医仁会武田総合病院発案

内視鏡処置具 ハンガー

(内視鏡システム取付けタイプ)



内視鏡カメラでポリープや早期がんを切除する治療があります。その際、さまざまな処置具をキャスター付きハンガーに引っ掛けるのですが、キャスター付きはスペースを取るので、省スペースタイプのハンガーが欲しいなと思っていました。

狭いスペースで実際使用してみると、この処置具ハンガーは、検査室の広さに制限されることなく使用できます。システムごとにも移動する場合もハンガーを取り付けているので、どの病院でも便利でしょう。使用しない場合は折りたんで収納できるのも良いところです。



開発に携わった

医仁会武田総合病院 臨床工学科 MEセンター
井口 新一 (臨床工学技士)



モニターを見ながら手の届く範囲に処置具をセットでき、視線を変えず内視鏡医との手技に集中できる。今までは背後にキャスター付きのハンガーを置いていたので振り返る必要があった。



ハンガー使用時



ハンガー収納時

今回コラボ開発した企業様

アズワン株式会社

<https://www.as-1.co.jp/>



武田病院グループ臨床ニーズマッチング会を随時実施中です。
まずはお気軽にご連絡ください。

医工連携推進室 担当 大江匡行 t-ooe@takedahp.or.jp